



ごあいさつ

～福島県青少年会館開館 40 周年記念事業を終えて～

公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構
副理事長兼福島県青少年会館館長 鈴木 登三雄

<開館 40 周年記念事業の御報告と御礼>

このたび、開館 40 周年を迎えた福島県青少年会館では、多くの関係の皆様のご協力をいただきながら、二つの記念事業を実施いたしました。

一つは、10 月 26 日に開催した「ふくしま青少年育成セミナー」です。セミナー講師に、福島県立医科大学の常任顧問で、前同大学理事長兼学長の菊地臣一先生をお招きし、『次代を担う君達へ～手紙に込めて伝えてきたこと、伝えたいこと～』と題して、御講演いただきました。会場は予備席を用意するほどに満杯状態となり、講師の熱のこもったお話と相まって、大いに盛り上がりを見せたセミナーとなりました。

また、もう一つの記念事業は、11 月 3 日に開催した「ふれあいキッズ・プログラム」です。この催しには、日ごろ青少年会館と連携いただいている青少年関係団体に加えて、ご当地ヒーローのダルライザーや福島ユナイテッド F C の皆さんにも御協力をいただきました。「ふくしま子育て&孫育てフェスタ」を併催したこともあり、当日は親子連れなど延べ 3 千人近い方々が来館され、賑わい溢れたイベントとなりました。

このように、二つの記念事業を盛況のもとに終えることができましたことを御報告いたしますとともに、両イベントに御支援・御協力いただきました関係の皆様へ、改めて心から感謝申し上げます。

<40 年の歩みと青少年会館の役割>

振り返れば、青少年会館が福島市黒岩にオープンしたのは、今から四十年前、昭和 54 年の 4 月のことでした。以来、青少年会館は、青少年及び青少年関係団体の活動の場として、集いの場として、研修や研鑽を重ねる場として、多くの方々に御利用いただきまいりました。

また、ハード面での整備を図りながら、近年におきましては、会館内に「青少年総合

相談センター」と「ひきこもり支援センター」を開設し、困難を抱える子ども・若者の自立に向けた支援を行うとともに、若い世代の出会い・結婚から子育てまでを親身になってサポートする「ふくしま結婚・子育て応援センター」を開設するなど、子ども・若者らを対象とした、幅広い機能・役割を担ってきているところであります。

一方、青少年会館が辿ってきた四十年の間に、時代は、昭和、平成、そして令和と移り変わりました。この間、社会経済情勢は大きく変化し、青少年を取り巻く環境も様変わりいたしました。

しかし、時代は変化しておりますけれども、未来を担う青少年を健全に育成していくこと、そして、子ども・若者らに必要となる適切な支援を図っていくということ、こうしたことの本質的な重要性は、昔も今も、言い換えれば、四十年前も今日でも変わっておりません。

引き続き、行政はもとより、家庭、学校、各種機関・団体などが連携協力し合い、地域社会が一体となって、時代変化がもたらす諸課題に的確に対応しながら、子ども・若者の育成支援にしっかりと取り組んでいかなければならないものと思っております。

福島県青少年会館といたしましては、開館 40 周年を契機として、『ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長に貢献する』という設立理念の更なる達成に向けて、一層努めてまいります。

今後とも、皆様には、福島県青少年会館の活動と取組に対しまして、格段の御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(令和元年 11 月)

